

「美術を見るのは好きだが、他の人にはどんな風に見えてるのかー」
美術作品を見ても意図がわからず、解説を熟読して、作者やその歴史背景に思いを馳せて、どうしても美しさなどを感じ取れず、心折れることがある。

自分の見方、感じ方や考え方をその作品を前にして他の人と話し合い、見方や価値意識を共有したいと思ったことはないだ

ろうか。そんな思いにひかり、立美術館で開かれている、対話による美術鑑賞会「ミニ・对话・ハナソウ・カイ」だ。ミニ・カーターと一緒に「これは何だろう、どうしてだろう」と参加者に考える機会を促し、作品の前で意見や感想を述べ合うことで、自分の目で作品を味わい、楽しむことが出来るようになる対話型鑑賞会で小学生以上なら誰でも参加でき

対話による美術鑑賞プロジェクト —— 佐倉市立美術館

「ミテ・ハナソウ・カイ」

22日までの土曜開催 国立美術館巡回展関連企画



■ミニテ・ハナソウ・カイ
—3月3、5、2日(土)

11時～12時。申込み12時～13時。要（要観覧券、先着各日10名）。6ヶ月～未就学児

■講演会「鑑賞コミュニケーション」
無料託児サービスあり
(申し込みは1週間前迄)

ケーターがつくる美術体験——新しい価値が生まれる時——」=9日(日)14

時～15時30分。東京都美術館学芸員稻庭彩和子氏
申し込み不要(先着99名)
▼「佐倉市立美術館」月

曜日休館、10時～18時（入館は17:30まで）。☎ 043-
485-7851。
<http://www.city.sakura.jp/sakura/museum/>